事実上の外国人参政権の付与につながる

生駒市の市民投票条例に反対します

生駒市では市民投票条例の制定に向けて取り組まれていますが、現在の条例案には多くの問題があります。

一つには、外国人を投票資格者としており、事実上の外国人参政権に繋がる、あるいは参政権を先取りした内容となっていることです。

一つには、国防問題など国政や国民全体の利害に関わることも投票に付することが出来ることです。「市政に関わる重要事項」として、防衛上の問題も投票に付することを可能にしていることは大きな問題です。

一つには賛否が投票有資格者の総数の４分の１以上であれば、投票結果の尊重を義務付けていることです。市民の関心が少なく、投票率が低くても、投票を有効にするのは、かえって民意を反映しない行政を招きかねません。

以上のような問題点のある市民投票条例には反対をいたします。

明日の生駒を考える会
代表　竹中正安
tomorrow-ikoma@hotmail.co.jp

取扱者

生駒市議会議長殿

お名前	ご住所

※この署名は、前記の目的以外には使用しません。